

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ネクサバル
診療科名	消化器内科
診療科責任者名	平田 信人
適応がん種	切除不能な肝細胞がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	He-3
登録日・更新日	2009年7月29日
削除日	
出典	ネクサバル添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ネクサバル錠	200mg	400mg/回	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他( PO )	2回/Day	連日
			1日2回			

1コースの期間	設定なし
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( 日 ) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	100%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>用量調節段階 1段階減量 投与量:1回400mgを1日1回経口投与 2段階減量 投与量:1回400mgを隔日経口投与</p> <p>Grade2の皮膚障害 1回目の発現後7日以内に改善が見られない場合あるいは2回目又は3回目 Grade0~1に軽快するまで休薬 再開時は1段階減量もしくは400mg隔日1回 4回目:投与中止</p> <p>Grade3の皮膚障害 1回目又は2回目:Grade0~1に軽快するまで休薬 3回目:投与中止</p> <p>血液学的毒性 Grade3:1段階減量 Grade4:Grade0~2に軽快するまで休薬し1段階減量 投与中止:30日を超える休薬が必要となり、投与の継続について臨床的に意義がないと判断された場合 2段階を超える減量が必要な場合は投与</p> <p>非血液学的毒性 Grade3:Grade0~2に軽快するまで休薬し1段階減量 投与中止:30日を超える休薬が必要となり、投与の継続について臨床的に意義がないと判断された場合 2段階を超える減量が必要な場合 Grade4</p>
前投薬	
その他の注意事項	高脂肪食の食後に本剤を投与した場合、血漿中濃度が低下するとの報告がある。 高脂肪食摂取時には食事の1時間前から食後2時間までの間を避けて服用すること

記入者	安室 修
確認者	伊藤 裕志